

100年先の 未来を築く

Building The Future
100years.



国土交通省 北陸地方整備局
2024 入省案内

100年先の未来を築く

Building The Future 100 years.

北陸地方整備局は「河川」、「道路」、「港湾・空港」、「官庁施設」等の社会資本(インフラ)の整備や維持管理を行っています。
各インフラの中でも大規模なもの、技術的に高度なプロジェクトを実施しており、「地域の皆様の暮らしの安全・安心」や、「地域経済活動」に欠かせない役割を担っています。
この地域で、100年先の未来に残るインフラ整備を一緒に進めていきませんか？

北陸地方整備局が扱う
インフラ

河川
道路
港湾・空港
都市・公園
官庁営繕

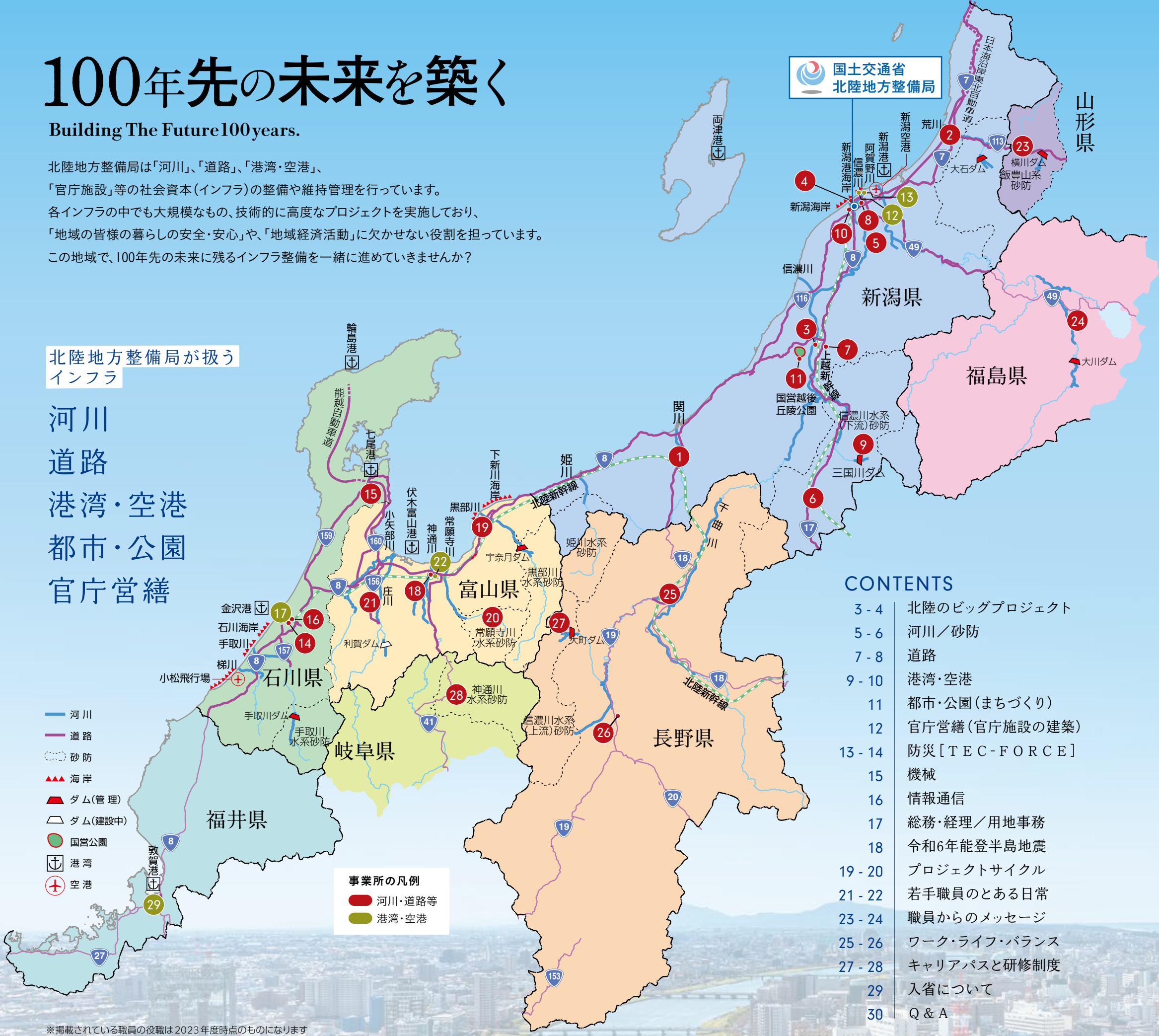
- 河川
- 道路
- 砂防
- 海岸
- ダム(管理)
- ダム(建設中)
- 国営公園
- 港湾
- 空港

事業所の凡例

- 河川・道路等
- 港湾・空港

※掲載されている職員の役職は2023年度時点のものになります

国土交通省
北陸地方整備局



国土交通省

北陸地方整備局

職員数約1,800名(事務系約4割・技術系約6割)

② 北陸地方整備局とは

8県という広大なエリアを、29の事務所・管理所、73の出張所が各地域に密着してニーズを把握し、社会資本整備と維持管理への確に反映させる“地域の窓口”としての役割を担っています。

総務部

港湾空港部

企画部

営繕部

建政部

用地部

河川部

統括防災官(防災部)

道路部

事務所

新潟県

- ① 高田河川国道事務所
- ② 羽越河川国道事務所
- ③ 信濃川河川事務所
- ④ 信濃川下流河川事務所
- ⑤ 阿賀野川河川事務所
- ⑥ 湯沢砂防事務所
- ⑦ 長岡国道事務所
- ⑧ 新潟国道事務所
- ⑨ 三国川ダム管理所
- ⑩ 北陸技術事務所
- ⑪ 国営越後丘陵公園事務所
- ⑫ 新潟港湾・空港整備事務所
- ⑬ 新潟港湾空港技術調査事務所

富山県

- ⑬ 富山河川国道事務所
- ⑭ 黒部河川事務所
- ⑮ 立山砂防事務所
- ⑯ 利賀ダム工事事務所
- ⑰ 伏木富山港湾事務所

山形県

- ⑲ 飯豊山系砂防事務所

福島県

- ⑳ 阿賀川河川事務所

長野県

- ㉑ 千曲川河川事務所
- ㉒ 松本砂防事務所
- ㉓ 大町ダム管理所

岐阜県

- ㉔ 神通川水系砂防事務所

福井県

- ㉕ 敦賀港湾事務所

出張所

③ 出張所とは

より地域に密着して社会資本整備や維持管理を行うため、73の出張所を各地域に配置しています。出張所には、パトロールや補修工事、許認可など維持管理を行う出張所や新たな社会資本整備のみを行う出張所があります。



出張所
(直江津国道維持出張所)



道路パトロール



河川の除草

CONTENTS

- 3 - 4 北陸のビッグプロジェクト
- 5 - 6 河川／砂防
- 7 - 8 道路
- 9 - 10 港湾・空港
- 11 都市・公園(まちづくり)
- 12 官庁営繕(官庁施設の建築)
- 13 - 14 防災[TEC-FORCE]
- 15 機械
- 16 情報通信
- 17 総務・経理／用地事務
- 18 令和6年能登半島地震プロジェクトサイクル
- 19 - 20 若手職員のとある日常
- 21 - 22 職員からのメッセージ
- 23 - 24 ワーク・ライフ・バランス
- 25 - 26 キャリアパスと研修制度
- 27 - 28 入省について
- 29 Q & A

おおこう づぶんすい ろ
大河津分水路【新潟県長岡市・燕市】



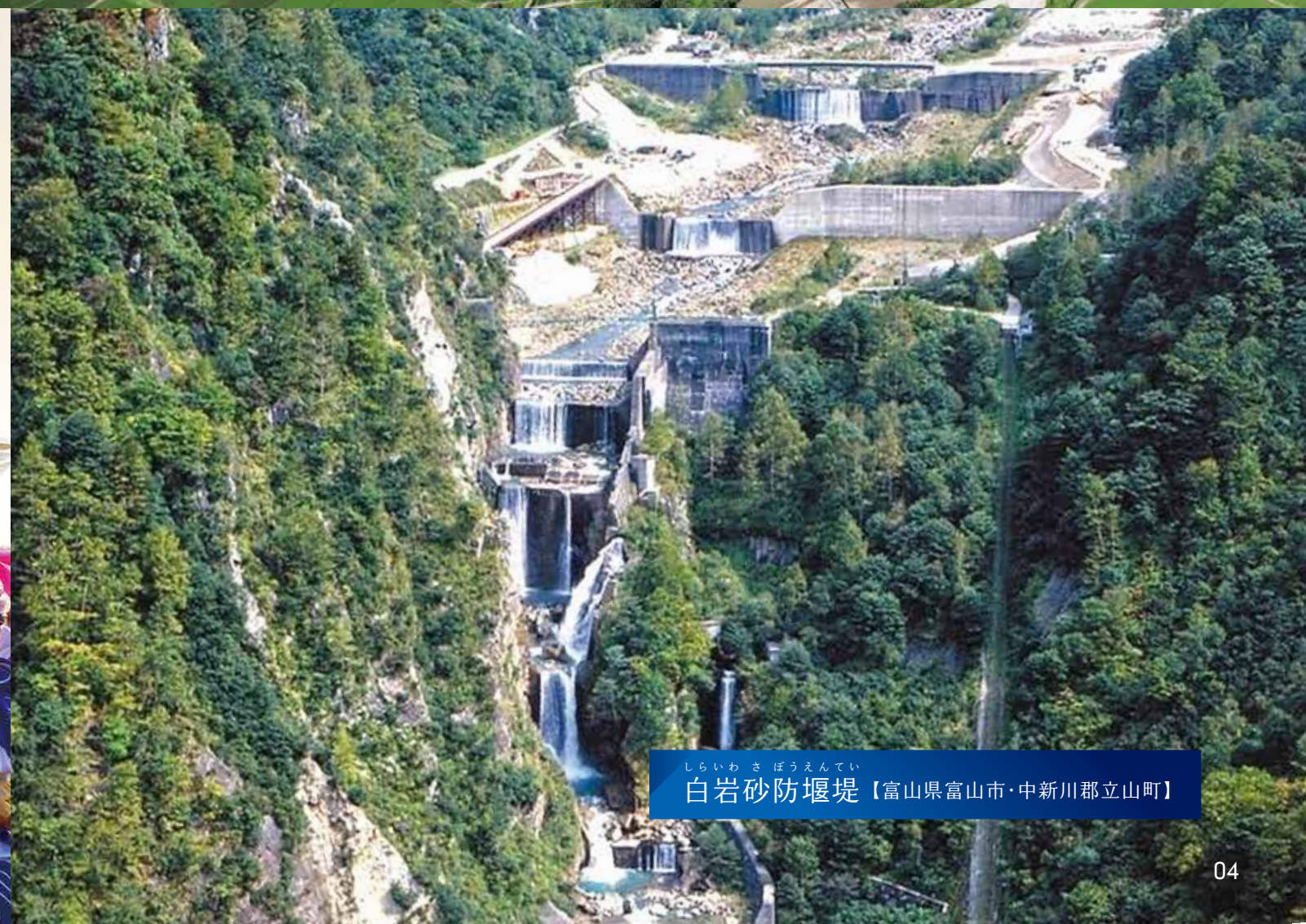
北陸のビッグプロジェクト

～北陸地方整備局では地域に不可欠な多様なプロジェクトを推進しています～



かなざわこう
金沢港【石川県金沢市】

あさひ あつ み どうろ
朝日温海道路【新潟・山形県境】



しらいわ さ ぼうえんてい
白岩砂防堰堤【富山県富山市・中新川郡立山町】

河川

に関わる仕事

未来の安全・安心をつくる

洪水や土砂災害などの自然災害から、地域の暮らしの安全・安心を守る河川事業。
このうち、北陸地方整備局では国土保全や国民経済の点から特に重要な河川を担当し、地域で暮らす皆様の生命や財産等を守っています。

TYPICAL WORK

かけはしがわ

▶ 梯川の流域治水

梯川は、小松市を流域とした幹線流路延長42km、流域面積271k㎡の一級河川です。近年の激甚な水害や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備えるため、国、県、市等が連携して、流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進しています。また、2022年8月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、「梯川水系緊急治水対策プロジェクト」をとりまとめ、引堤事業や河道掘削などの対策を実施しています。

河川系の事業例

砂防

土砂災害から地域を守る“北陸地方整備局の砂防”

北陸地域は豊かな自然に恵まれている一方、急峻な地形、脆弱な地質を有しています。このような地形条件のもと、北陸地方整備局では、数多くの砂防事業を行い、豪雨による土砂流出から地域を守っています。

だいげんた

▶ 大源太川第1号砂防堰堤

大源太川第1号砂防堰堤は、信濃川水系魚野川右支川大源太川に築造された、国の砂防事業として日本で最初に完成したアーチ式砂防堰堤です。流麗な線形と美しい石積み特徴で、施設周辺は四季折々の景観を活かしたレクリエーション施設が集まる地域の観光拠点となっています。

近年、老朽化箇所の補強が完了し、施設完成から80年以上経った今でも現役の砂防堰堤として下流の安心・安全に寄与し続けています。

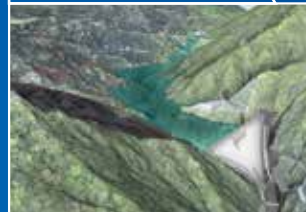
水辺のにぎわい創出



▶ やすらぎ堤(ミズベリング)

新潟市中心部の信濃川河川敷で「ミズベリング」という、官民連携したにぎわい創出のプロジェクトを実施（新潟県新潟市）

ダム事業



▶ 利賀ダム

富山県内を流れる庄川の洪水から地域を守るためのダム建設事業。3次元モデルの活用等、インフラDXの取り組みも推進中
※完成イメージ図（富山県南砺市）

海岸事業



▶ 石川海岸(松任工区)

砂浜保全により海岸侵食や高波等の被害を防止し、背後地の住民や財産を守る海岸事業（石川県白山市）

緊急治水対策プロジェクト



▶ 千曲川

令和元年東日本台風により甚大な被害が発生した千曲川。河川整備によるハード対策と地域連携によるソフト対策を緊急的に推進（長野県上田市）

VOICES FROM THE FIELD

技術



信濃川河川事務所
計画課 企画係長

田中 隆洋 Takahiro Tanaka

2010年度採用

大河津分水路の改修事業を推進するための企画・調査を担当しています。大河津分水路では、地域を洪水から守るため、川幅を広げる大規模な事業を実施しています。本事業ではICT等の新技術を積極的に活用しており、技術の進化を肌で感じながら日々の業務に取り組んでいます。

近年では令和元年東日本台風のような大きな災害が頻発しており、治水事業への関心や期待がますます高くなっています。大河津分水路は2022年に通水から100年を迎えており、これから多くの方々からの期待に応えられるよう、責任感を持ちながら次の100年に向けてこのビッグプロジェクトに取り組んでいます。

技術



飯豊山系砂防事務所
調査課 調査係長

山根 恭子 Kyoko Yamane

2016年度採用

道路事業や河川事業に携わる部署も経験しましたが、現在は砂防事業に関わる調査・計画を担当しています。砂防堰堤というと、国道や河川堤防などと比べて普段の生活では身近に感じることの少ない施設かと思いますが、土砂災害から国民の生命・財産・生活を守るという重要な役割を担っています。

実は、土砂の移動現象というのはまだよくわかっていないことが多く、地域に合わせた適切な事業を行うにはしっかりとした調査が必要となります。同じ北陸管内でも様々な特色を感じられるのも、砂防にまつわる魅力の一つではないでしょうか。

技術



金沢河川国道事務所
工務第一課 河川係長

福嶋 祐樹 Yuki Fukushima

2009年度採用

石川県内の一級河川「手取川（てどりがわ）」「梯川（かけはしがわ）」の工事発注を担当しています。特に梯川では、2022年8月の豪雨災害により、広域にわたって浸水被害が発生し、現在災害復旧工事を発注して、川幅を広くするための堤防づくりや、堤防強化のための護岸を整備しています。また、河道内に堆積した土砂を掘削する工事を実施しており、工事の進め方や工程管理を考えて、業務に携わっています。私も実際に経験したことのない洪水被害を現場で見て、少しでも地域の安全と安心のために貢献したいと思い、仕事に取り組んでいます。

道路

に関わる仕事

人・物・情報を未来へつなぐ

人々の日常生活や物流に欠かせない道路。北陸地方整備局は県と県をつなぐ、広域的な幹線道路の整備、維持管理という重要な役割を担い、地域社会の発展を支えています。

道路系の事業例

メンテナンス（更新）



いといがわ 糸魚川地区橋梁架替事業

国道8号は糸魚川市内では日本海沿岸部を通過しており、日本海からの荒波の影響を直接受ける厳しい環境です。これまで補修を行ってきましたが、劣化が激しく補修に限界があるため、計画的に橋梁の架け替えを進めています。計画的な架け替えにより、国道8号はこれまで通り誰もが安心して利用できる道路として活躍していきます。（新潟県糸魚川市）

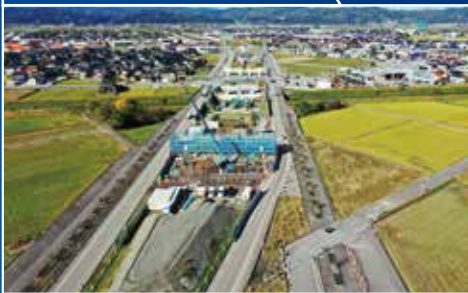
幹線道路ネットワーク整備



はちじゅうりごえ 八十里越

新潟・福島県境部の通行不能区間の解消を目的とした道路事業。高度な技術を要する事業であるため、自治体に代わって国が整備を実施。（新潟県三条市～福島県南会津郡只見町）

幹線道路ネットワーク整備



ろっけ 六家立体

国道8号の富山県高岡インター周辺の渋滞解消を目的に、交差する県道高岡環状線の立体化を実施。国道8号の交通円滑化により、伏木富山港から産業拠点までの物流効率化が図られます。（富山県高岡市）

TYPICAL WORK

わじま 輪島道路

輪島道路（延長11.5km）は、石川県輪島市から富山県砺波市を結ぶ全長約100kmの高規格道路「能越自動車道」の一部を構成し、2023年度に一部区間が開通しました。能登地方を中心に大きな被害をもたらした令和6年能登半島地震では、輪島道路も斜面の崩落等の被害を受け、復旧工事を実施しています。引き続き、整備を推進し、能登地方へのアクセス強化とともに、安全で信頼性の高い道路交通を確保します。

VOICES FROM THE FIELD

富山河川国道事務所
計画課 道路計画係長

小林 喬 Takashi Kobayashi 2010年度採用

私の仕事は、新たな道路を造るための調査や計画、設計などの業務を担当しています。

道路というのは、日常の移動だけでなく、物資の輸送や災害避難等にも利用される重要な社会インフラです。道路を造るということは、地域の方々の快適で安全に過ごせる生活をつくるということ。ひいては人々の幸せをつくることだと私は考えています。

また、人々を幸せにするためには、自分達が幸せでなければならないと思っています。自分自身も職場のみんなも、楽しく仕事をできるということを心掛けています。

技術



技術

新潟国道事務所
工務第一課 工務係長

松並 貴志 Takashi Matsunami 2012年度採用

朝日温海道路は日本海沿岸東北自動車道の一部を構成する道路であり、新潟県村上市の朝日まほろばICと山形県鶴岡市のあつみ温泉ICを結ぶ延長40.8kmの高規格道路です。朝日温海道路の整備により、災害に強い道路ネットワークが形成され、またこの道路がつながることで、救急搬送の範囲が広がるほか、観光・産業への活性化も期待されます。私は設計・工事を担当しており、朝日温海道路のような改築事業は、トンネルや橋梁等の大規模構造物が多いため、日々、やりがいと責任感を持って業務を行っています。

長岡国道事務所 柏崎維持出張所
管理第二係長

小林 美憂 Miyu Kobayashi 2016年度採用

新潟県中越地区の国道8号・116号の維持管理を担当しています。地域と地域を結ぶ重要な道路であり、安心・安全に通行できるように、自ら行う日々の道路巡回や、清掃・除草・除雪等の維持作業、傷んだ舗装・橋梁の修繕等の工事監督を行っています。

舗装の陥没や交通事故による通行規制などの突発的な事象が発生し、緊急的な対応を求められる場面もありますが、皆さんが当たり前道路を通行し、日常生活を送れるように、日々責任を感じながら一つ一つの業務にあたっています。

技術



事務

長岡国道事務所
管理第一課 占用係長

渡辺 祐貴 Yuki Watanabe 2009年度採用

私は道路に水道管などの工作物を設置するための占用許可に関する事務や防災・良好な景観を目的とする電線共同溝事業の整備計画に関する事務を担当しています。道路は一般交通だけでなく、電気・水道・ガスなど私たちの生活に欠かせない設備を収容する空間として活用されていて、さらには社会情勢の変化に応じて様々な施策を実施することで地域活性化や豊かなくらしに寄与しています。

業務では幅広く法令や技術的な知識まで必要なため悩むことも多いですが、同僚・上司と相談しながら仕事を進めることができる職場で、難しいながら学びも多くやりがいのある仕事だと感じています。

港湾・空港

に関わる仕事

経済と暮らし、そして未来を支える「港」

原材料、生活物資、食料、製造品の輸出入等、我が国の貿易量の99.6%を占める港湾。国内外からの空の玄関口である空港。海上輸送網の拠点となる港湾、航空輸送網の拠点となる空港の整備等を担当し、北陸地域の経済と暮らしを支えています。

TYPICAL WORK

新潟港東港区 国際海上コンテナターミナル

新潟港東港区国際海上コンテナターミナルは、本州日本海側で最大のコンテナ※貨物取扱量を誇り、東アジア、北東アジア等の対外諸国と県内や背後圏地域を結ぶ物流の拠点となっています。現在は、船舶を波浪から守り安全な貨物の荷役作業を確保するため、防波堤整備等の機能向上を進めています。港湾の整備に伴い、背後に工場や企業が立地することによる新たな雇用の創出、クルーズ船寄港による賑わいの創出など、その波及効果は広域におよびます。※コンテナ：貨物輸送の容器

港湾・空港系の事業例

地域を支える、日本を支える北陸の港湾

北陸と世界を繋ぎ、北陸の成長・発展を支えています。

▶ 金沢港 大型クルーズ船寄港に対応した岸壁の整備(石川県金沢市)

▶ 伏木富山港

非効率な荷役の改善、貨物量増加、施設老朽化に対応する中央ふ頭の再編整備(富山県射水市)

▶ 敦賀港

国際物流ターミナルの整備による幹線輸送機能の強化(福井県敦賀市)

▶ 新潟空港

滑走路端安全区域の確保に係る各種施設の整備(新潟県新潟市)

▶ 大型浚渫兼油回収船「白山」

八戸港で座礁した船から漏れた油を回収作業中の「白山」(所属：新潟港湾・空港整備事務所)

VOICES FROM THE FIELD

技術



港湾空港部
港湾計画課

眞井 里菜 Rina Sanei

2021年度採用

北陸地方整備局管内の港湾整備に必要な予算の要求や、港の将来的な計画の立案を行っています。我が国において輸出入貨物量の99.6%を取り扱う港湾は、人口や資産が集中する島国日本の生命線であり、物流・人流を支える交通基盤となっています。北陸港湾を取り巻く情勢を踏まえ、事務所や地方自治体など多くの関係者と密に連携し、業務へ取り組むことは国ならではの仕事だと感じています。各港の背景や歴史を踏まえて予算の要求を行い、地域から要請のある事業の進捗が図られることで、私たちの仕事が「地域の方々の暮らしを支える仕事」であることを実感しています。

技術



新潟港湾・空港整備事務所
第一建設管理官室

美濃 汰一 Taichi Mino

2018年度採用

新潟西港における航路浚渫事業の現場監督を担当しています。新潟西港は信濃川の河口に位置し、人流や国内物流の拠点となる港ですが、上流から流れてくる土砂による航路埋没が課題となっています。船舶が安全に航行できる水深を確保するため、海底の土砂をすくい取る浚渫工事を年間通して実施する必要があります。工事を進める上では、計画通りに進まないことや様々な課題がありますが、地域の方々の暮らしを支えることにつながるこの仕事に、大きなやりがいを感じています。

技術



新潟港湾空港技術調査事務所
調査課

市川 大聖 Taisei Ichikawa

2019年度採用

私は港湾施設の設計業務に携わっておりです。日本は海に囲まれた島国であり、貿易量の大半は船舶を利用しています。そのため「港」は外国や国内各地を結ぶ結節点であり、物流・人流の拠点としての重要な役割を担っています。設計業務では安定的な船舶の航行や安全な荷役作業を行うための岸壁や防波堤の設計に取り組んでおります。国が行う港湾インフラ整備は大規模な事業が多いため、ひとつの成果に大きな達成感があり、とてもやりがいを感じます。また、広域にわたって各所の地域に貢献できることも国が行える仕事ならではの魅力だと感じます。

都市・公園

(まちづくり)

に関わる仕事

だれもが住みやすい「まち」づくりを“支援”

だれもが快適な生活を送るため、中心市街地の空洞化対策や良好な住宅の供給、バリアフリーなど、様々なまちづくり活動の支援を行っています。
また、建設業や宅地建物取引業等の健全な発達のための指導、監督業務を行っています。



TYPICAL WORK

▶ 国営越後丘陵公園 (新潟県長岡市)

VOICES FROM THE FIELD

事務

建政部
計画・建設産業課

武田 玲南

Rena Takeda

2022年度採用



計画・建設産業課では、まちづくりに取り組む自治体への支援や建設業、不動産業等の事業者に対する許可、指導監督など、多岐にわたる業務を行っています。現在私は、建設業者が仕事をする上で必要な建設業許可等の審査や、建設業法に則って建設業を営んでいるかどうか調査するため、事業所への立入検査などを行っています。インフラの整備・維持管理など人々が生活をする上で必要不可欠な役割を担う建設業に携わっていることや、法令遵守に努めるよう指導監督することなど、業務の重要性や緊張感にとてもやりがいを感じています。

TYPICAL WORKS



▶ 金沢城公園

(石川県金沢市)



▶ 富山駅南北接続事業

(富山県富山市)



▶ 発酵ミュージアム 米蔵

(新潟県長岡市)

技術

建政部
都市・住宅整備課 企画調査係長

西村 政輝

Masaki Nishimura

2012年度採用



都市・住宅整備課では、自治体が進める「まちづくり」を交付金制度の活用を通じて、国の立場から支援する業務を行っています。自治体を目指す「まちづくり」に直接触れ、その思いを受け取ることで、自治体のため、またそこに住む人々のためになっていると思うととてもやりがいのある仕事と感じています。

また、日本海側唯一の国営公園「国営越後丘陵公園」も担当しており、香りをテーマにしたばら園や里山の暮らし体験、パークゴルフコースなど魅力あふれる公園です。園内で来園者の笑顔が見られると自分も嬉しい気持ちになります。

営繕

に関わる仕事



時代のニーズに対応した、公共建築

国土交通省では、国の行政機関が入居する「官庁施設」のほか、除雪車両を格納する「除雪ステーション」、道路利用者の休憩と地域振興が一体となった「道の駅」など、多様な公共建築物を整備しています。災害時には、利用者の安全確保だけでなく、地域における災害応急対策活動の拠点施設や避難施設など、防災拠点としての機能も担います。



TYPICAL WORK

▶ 新潟美咲合同庁舎1号館、2号館

北陸地域の防災拠点として整備された(新潟県新潟市)

VOICES FROM THE FIELD

技術

営繕部 整備課
栗原 優佳

2021年度採用



営繕部では、国が行政を行うための合同庁舎、税務署、ハローワーク、海上保安署など様々な施設の整備や保全を行っており、現在私は、施設の新築・改修に関する設計や積算の業務を担当しています。

施設によって求められる性能や不具合の状況などが異なるため、それぞれを把握し、どのような施設整備が良いのか日々模索しながら業務を行っています。

事業の規模に関わらず関係者と多くの調整が必要なため、苦労することもあります。自分が担当した施設が完成した際に、施設の職員の方に喜んでもらえる大きな達成感があります。

TYPICAL WORKS



▶ 若手職員研修風景



▶ 下越森林管理署村上支署

(新潟県村上市)



▶ 大潟除雪基地

(新潟県上越市)

防災 TEC-FORCE

迅速な出動で、被害を最小限に

迅速な対応が求められる、地震や豪雨などの大規模自然災害。常に備えを万全にし、発生した場合には、迅速にTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）が出動。被災状況の把握、社会基盤施設の復旧、二次災害の防止に努めます。



緊急災害対策派遣隊 (TEC-FORCE) とは

大規模な自然災害等に際して、被災状況の把握、被害の発生・拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に対する技術的な支援を行います。隊員は、専門的な知識や現場経験を有した全国の国土交通省職員で構成されており、北陸地方整備局からも多くの職員が任命され、活躍しています。



令和6年
能登半島地震

道路の被災状況調査（石川県輪島市河井町）



平成30年
北海道胆振東部地震

道路の被災状況調査（北海道勇払郡安平町）



令和2年7月豪雨

砂防の被災状況調査（熊本県山江村）



令和2年12月雪害

除雪車による除雪支援（関越自動車道）

VOICES FROM THE FIELD

統括防災官

齋藤 充

Atsushi Saito

1987年度採用

技術

2024年1月1日16:10頃、能登半島地震が発生し、ゆったりとした正月が一変し、すぐさま初動対応に追われました。TEC-FORCE活動は様々な任務があります。ある被災自治体に発災後すぐに派遣され被災地に寄り添い整備局の目や耳となったTEC-FORCE隊員に町長さんは涙を流しながら感謝の言葉を伝えました。私達は地域の生命・財産を守り、復旧・復興に全力を注ぐ任務に誇りを持っています。そして何より感謝の言葉に勇気づけられます。



立山砂防事務所

調査課長

村元 陽介

Yosuke Muramoto

2006年度採用

技術

国土交通省への入省を希望したきっかけは、2004年10月に発生した新潟県中越地震という「一つの災害」でした。当時、学生だった私は、あまりにも「日常」から掛け離れた被災地（旧山古志村）を目の前に言葉を失ってしまい、指導教授から「土木技術者ならば、（惨状を）何とかするには何が良いか（最善かを）考えなさい!!」と喝を入れられました。

入省後は、TEC-FORCEの隊員として2011年3月の東日本大震災や平成28年熊本地震を始め、2024年の元日に発生した令和6年能登半島地震（私の故郷です）など「様々な災害」の被災地で調査活動に従事しました。どの被災地でも（私の故郷でも）、被災された地域の方々が求めておられるのは、「少しでも早く日常を取り戻すこと」です。私たちTEC-FORCEは、この切実な想いを叶えるために、これからも復旧・復興の呼び水となって「価値のある地道な活動」を続けていきます。

いつの日か、入省希望の皆様と一緒に「何とかするには何が良いか」を考える「価値のある地道な活動」を実施する日がくることを願っています。

FOCUS

日々の訓練も仕事

様々な災害に迅速に対応できるよう、関係機関と連携した防災訓練を行っています。また、地域の方と一緒に防災について学べるよう、イベントを開催し、地域に密着した防災活動を行っています。



TEC-FORCEによる緊急排水活動訓練



水防団による水防訓練（月の輪工）



イベントでの防災意識の啓発活動



雪害時の乗員保護訓練
（支援物資配布訓練の状況）



冬の道路交通確保に向けた訓練
（チェーン装着確認や立ち往生車両の移動訓練）

機 械

地域の安全・安心な暮らしを「機械」で支える

河川、道路の機能を発揮するために必要な機械設備・建設機械や災害対策用機械の整備と運用管理、建設事業の施工技術開発・支援を行い、安全で安心な住みよい地域社会の実現に貢献します。



↑湯沢町での除雪作業

技術

新潟国道事務所
防災情報課

中田 京之介

Kyonosuke Nakada

2022年度採用

インフラを支える機械の活躍

新潟県下越地域における、除雪機械や維持用車両などの建設機械の維持・管理を行うほか、道路排水設備や消融雪設備などの道路施設の新設・更新などの工事を発注し、その後の監督も担当しています。

北陸地域は降雪が多く、冬期における交通確保及び安全のために、特に消融雪設備や除雪機械が大きな役割を担っており、この機能が失われると道路交通に大きな支障をきたすため、機械担当の役割は大きいと感じています。

このような業務を通して地域の人々の暮らしを支えていることを感じ、責任を持って仕事に取り組んでいます。

VOICES FROM THE FIELD

TYPICAL WORKS

技術開発

現場における技術的課題の解決や、作業の効率、安全な施工などに対応するため技術開発に取り組んでいます。開発した技術は、保有する建設機械や運用するためのシステムとして活用しています。



↑大型遠隔操縦式草刈機械

河川堤防法面で、転倒する可能性がある危険な除草作業を、機械の大型化と遠隔操縦することで作業の安全と効率化を図りました。



↑ロータリ除雪車



↑排水ポンプ車

建設機械の整備

河川、道路の維持管理に必要な建設機械を保有しています。

確実、効率的な運用を行うため、建設機械の配備計画を策定し、必要な装備の検討、適切な点検整備を行っています。

機械設備の整備

河川、道路の土木構造物と一体となって機能を発揮する機械設備(河川・ダム用ゲート設備、消融雪設備等)の新設、維持管理、更新を行っています。



↑新潟大堰(新潟県新潟市)



↑宇奈月ダム(富山県黒部市)

情報通信

社会インフラを支える
情報通信ネットワークを形成

河川や道路等の安全で安心な利用のため、情報通信技術を用いたネットワークや情報システムの整備、運用、維持管理をします。
災害が発生した場合には、衛星通信車等の災害対策設備を駆使し、迅速な対応に寄与しています。



技術

金沢河川国道事務所
防災課 防災情報係長

佐野 友治

Tomoharu Sano

2016年度採用

電気通信設備は、拠点間を結ぶ無線通信設備・光ケーブルを活用した高速ネットワーク設備に代表される防災通信インフラに加え、様々な施設の電気設備、カーボンニュートラルに寄与するLED照明など、多岐にわたり、私はそれらの電気通信設備の整備や運用・維持管理を行っています。

なお現在は、令和6年度能登半島地震の対応も行っており、国土交通省が所有する防災通信設備を活用した映像やデータ伝送を担当しています。これらは被災された地方自治体への防災情報支援に活用されています。このように、私たちの業務が地域の人々の暮らしと安全安心を支えていることに意義を感じながら責任をもって業務を行っています。

VOICES FROM THE FIELD

TYPICAL WORKS



↑受変電設備の点検

安定的な電力供給

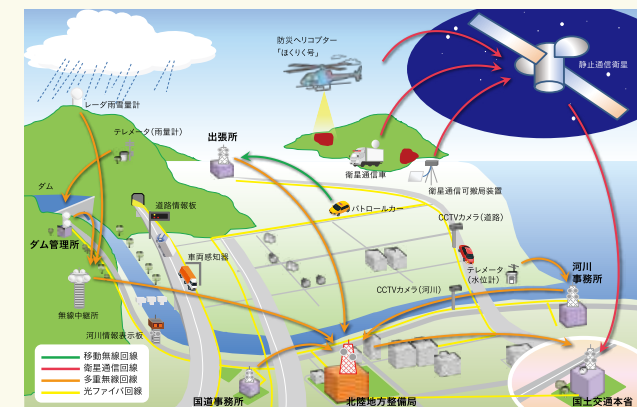
通信機器や河川、道路、ダム等の施設へ安定的に電気を供給するための設備や、車の安全な走行に欠かせないトンネルや橋の照明等を整備点検しています。



↑ヘリコプター映像伝送装置

迅速な災害対応

災害発生時には機動力のある通信システムで、災害現場等の情報を迅速に把握し、国土交通省内はもとより、地方自治体にも映像等を伝送し、的確な災害対応を可能にします。



的確な情報提供

河川、道路、ダム等を適切に管理するために、様々な機器を用いて情報収集を行っています。集められた情報は地域住民や施設利用者にも提供しています。



↑道路情報板



↑聖高原レーダ

強固な情報通信ネットワーク

全国の国土交通省の拠点や都道府県さらに防災関係機関を多重無線回線と光ファイバ回線でネットワーク化し、情報を確実に伝送する通信網を構築しています。

総務・経理

「総務」には、給与計算、福利厚生、庁舎管理など、北陸地方整備局で働く職員の処遇や職場環境に関する業務などがあります。

「経理」には、工事を発注するための契約業務、備品等の購入をするための契約業務、国の建物などの財産を管理する業務、工事代金の支払いなど多額な予算執行に関する業務などがあります。

事務

総務部
会計課

永山 遥

Haruka Nagayama

2021年度採用

北陸地方整備局では道路、河川等の整備事業などを行っていますが、なかでも会計課は各事業にかかる予算の管理、支払を行っています。支払手続きの過程において、私は支払書類と職員の旅費の審査を担当しています。支払書類審査では、予算が適正に使用されているかを請求書・契約書等を見ながら確認し、旅費では行程や支払額等を確認して職員が公正な出張を行っているかを審査しています。

事業の推進に直結する仕事ではありませんが、どの事業においても支払業務は最終的に必要です。その過程に携わることで間接的に北陸地域に貢献しているというやりがいを感じています。

VOICES FROM THE FIELD

用地事務

公共事業に必要となる土地の取得等とそれに伴う損失の補償を行うため、事業計画の説明、補償対象（土地や建物）の調査、補償金の算定、権利者との交渉、補償契約の締結、登記、補償金の支払い等、一連の手続きを行っています。

補償金の算定に必要な基準は、公共事業を進める地方自治体に対しても、研修等を通じて説明・指導しています。

事務

松本砂防事務所
用地課

小木曽 守洋

Morihiro Ogiso

2023年度採用

長野県から新潟県にかけて、約1600km²に及ぶ流域を管轄している松本砂防事務所、砂防事業のための用地取得を担当しています。管内の北アルプスの急峻な地形からは膨大な土砂が流出することから、早急に砂防設備を整備する必要性が高くなっています。災害から人命や建物を守るため、一刻も早く必要な土地を取得することができるよう強い使命感を持って用地業務に取り組んでいます。自分が関わって取得された土地で工事が始まり、設備が完成したときにやりがいを感じます。

VOICES FROM THE FIELD

令和6年能登半島地震

2024年1月1日16時10分頃に石川県能登地方でマグニチュード7.6の「令和6年能登半島地震」が発生しました。

北陸地方整備局は直ちに非常体制を発令し、災害対策本部を立ち上げました。

石川県庁や輪島市、珠洲市等の被災自治体にTEC-FORCE（リエゾン）を派遣し、県、市町との情報共有を図るとともに、道路啓開作業、河川、道路、港湾等の被害状況調査、物資支援など迅速に対応しました。

〇リエゾン（情報連絡員）は、地方公共団体等の被害状況や支援ニーズを把握し、地方整備局等への報告のほか、状況に応じて技術的助言を実施します。

道路啓開作業

人命救助や物資支援等に必要不可欠である道路啓開作業について、24時間体制を構築し、地元建設業の応援を受け、緊急復旧作業を順次実施しました。

1月2日には七尾市から輪島市役所・珠洲市役所・能登町役場まで普通車の通行を確保しました。



県道1号での啓開作業（輪島市三井町）

河道閉塞等の対応

河原田川流域内では土砂崩れにより土砂が川をふさいだため、上流部の家屋等が浸水しました。その後工事に着手し、家屋・道路浸水を解消しました。

安定した状態にある河川についても、今後、不安定化することに備えて監視体制を整備しました。



河原田川の迂回水路設置状況（輪島市熊野町）

港湾の応急復旧

円滑な輸送を確保するため、国土交通省は石川県が管理する港湾施設の一部で、施設の点検・利用可否判断、応急復旧、岸壁の利用調整などを実施することになりました。

1月5日には九州地方整備局の所有する「海翔丸」が七尾港に着岸し、飲料水等の物資を輸送しました。

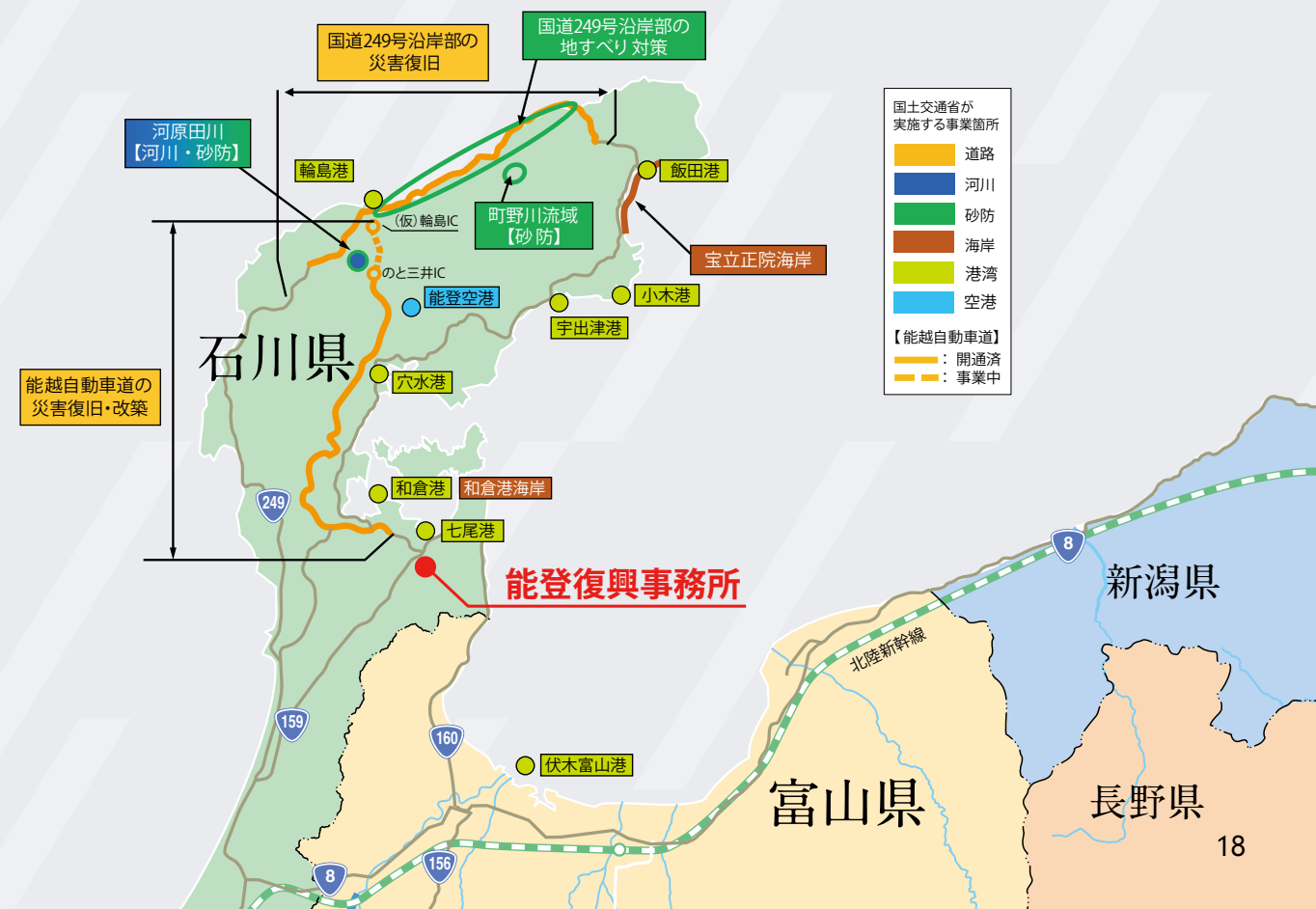


七尾港での支援物資の荷下ろし（七尾市）

令和6年能登半島地震からの復興に向けた主要事業を北陸地方整備局が推進します

令和6年能登半島地震からの復興に不可欠となる主要なインフラ事業を、県管理のものも国土交通省が代行する等して進めていきます。

2024年2月16日には、事業の拠点として石川県七尾市に「能登復興事務所」を設置しました。能登復興事務所や金沢河川国道事務所、能登港湾空港復興推進室等で復興事業に取り組んでいきます。



仕事繋がり、プロジェクトは進む。

プロジェクトの企画・構想段階の検討から、施工、その後の維持管理まで、全てのフェーズに関わることができます。
多様な経験を積むことで職員はスキルアップしていきます。



企画・調査計画 >>>

地域が抱えている課題やニーズを把握し、必要な事業を企画・立案していきます。長期的な視点に立ち、未来のプロジェクトの検討を進めています。



用地取得 >>>

事業に必要な土地の取得や建物等の物件の移転に伴う損失補償についての交渉などを行います。



設計・積算 >>>

現場条件を踏まえ、最適な設計・デザイン、施工ステップ等の検討を行います。工事発注に当たっては、必要な費用の算出を行います（この作業を積算といいます）。



経理・契約 >>>

入札等により施工業者を決定し、契約を締結。また工事完了後の支払いや決済、各種物品の調達などを担当します。



工事 >>>

受注者が工事を進める中で、設計どおりに工事が進んでいるかどうか、品質や安全面に問題ないかどうか等を確認する工事監督を行います。現場の最前線での仕事になるので、技術力も磨かれます。



維持管理 >>>

地域の皆様が安全にインフラを利用できるよう、河川やダム、道路などの点検を行い、必要な修繕を行います。

▼ プロジェクトへの関わり



技術

千曲川河川事務所
流域治水課
武田 尚樹 Naoki Takeda

2022年度採用

信濃川水系では、令和元年東日本台風において上中流域の広域にわたって甚大な被害が発生したことから、信濃川水系緊急治水対策プロジェクトを発足し、緊急的にハード・ソフト対策を進めています。私は、測量業務や遊水地に関わる調査設計業務や上記プロジェクトの工事進捗状況などをHPへ掲載する広報業務を行っています。調査設計に携わるのは初めてのことで分からないことや難しいと感じることも多くありますが、大規模なプロジェクトに携わる一員として責任感を持って日々の業務に励んでいます。

▼ プロジェクトへの関わり



事務

富山河川国道事務所
用地第二課
福村 優華 Yuka Fukumura

2023年度採用

私は、国道の交通渋滞緩和など安全・快適な道路整備を目的とした用地取得業務に携わっています。事業に必要な土地をお譲り頂くために、上司と共に土地所有者の元へ出向き、協議内容のメモを取り、記録を残す業務や、土地代金等の支払い書類作成の事務を担当しています。用地課の仕事は現場に出る機会が多いため、国民の皆様の声を直接聞き、話ができる点に魅力を感じています。土地所有者と協議を重ねて契約を結ぶことができたときや、お譲り頂いた土地で実際に工事が進められている現場を見たときに、国の大きなスケールの仕事に私はやりがいを実感しています。

▼ プロジェクトへの関わり



技術

新潟港湾・空港整備事務所
保全課
一越 愛莉 Airi Ichikoshi

2018年度採用

私は、新潟の港湾や海岸、空港の整備に関する発注業務に携わっております。工事を契約するためには、品質や性能、施工手順等を具体的に施工者へ伝えるための工事仕様書や、施工範囲等を示した発注図面等の発注資料を作成し、その発注資料に基づいた工事費用の算出も行います。これらの発注業務は、小さなミスが大きな費用の差になるため緊張感もありますが、正確な資料を作成し工事が無事完了したときには達成感があります。大規模工事の内容を把握し適正に発注を行うため、日々学びながら責任感を持って発注業務に励んでいます。

▼ プロジェクトへの関わり



事務

高田河川国道事務所
経理課
吉岡 郁人 Ikuto Yoshioka

2023年度採用

私は契約係として、物品の購入や役務等の入札・契約を行っています。契約業務では、道路や河川等の建設から事務用品の購入まで幅広い範囲の調達を行っています。競争性・透明性・品質確保などの観点を土台とした様々な入札・契約方式により計画的な発注を行うことで、円滑な事業推進の一翼を担っています。直接的に現場に携わる事はありませんが、購入した物品が実際に活用されている場面を見るととてもやりがいを感じます。

▼ プロジェクトへの関わり



技術

新潟国道事務所
計画課 計画係長
松田 衛 Mamoru Matsuda

2018年度採用

私は前ポスト（長岡国道事務所 湯沢維持・雪害対策出張所）では南魚沼地域でバイパス事業の工事監督や指導、関係自治体との調整、地元住民への説明に関する業務を行っています。設計図や計画工程通りに工事が進むよう、日々工程管理や現場での施工管理、定期的な安全パトロールを行い、事故が起きないように指導を行います。設計に不備があったり、工程に遅れが生じたりした場合は、施工業者や設計コンサルと打合せを行い、施工方法を検討します。責任重大な業務ですが、無事故で工程通りに工事が完了したときはとても達成感がありました。日本有数の豪雪地帯に安心して利用できる道路を作ること使命感を感じながら、日々の業務に取り組んでいます。

▼ プロジェクトへの関わり



技術

羽越河川国道事務所
村上国道維持出張所
佐々木 一翔 Kazuto Sasaki

2021年度採用

私は現在、道路の維持出張所で道路パトロールや道路工事の監督補助等を行っています。道路パトロールは、道路に危険な箇所や損傷している箇所がないか確認を行い、落下物の撤去や、必要に応じて補修作業を実施するなど、道路の安全を守るという重要な役割を担っています。維持出張所が担当する工事は舗装・橋梁・トンネルなど様々な工事があり、幅広い知識が必要となりますが、工事受注者、出張所職員皆で協力し、工事が終わる度に自身の成長を実感できることが、この仕事の面白さであり、北陸の道路を支えているとやりがいを感じています。皆様が安心して道路を利用出来るよう日々取り組んでいます。

若手職員の日常

DAILY LIFE OF YOUNG STAFF

技術

富山河川国道事務所
工務第二課

水野 ころろ

Kokoro Mizuno

2023年度採用



土木業界の環境を変えて、一緒に働く女性技術者を増やしていきたいです。

ONE DAY

- 9:00 始業**
朝が弱い私はフレックスを活用して、通常より30分遅く出勤。通勤ラッシュも避けることが出来るので、とても助かっています。出勤したら皆さんに笑顔でご挨拶。今日も1日頑張ります！
- 9:30 WEB打ち合わせ**
施工業者の方と打ち合わせをしています。分からないことは、上司や先輩に確認し、理解するまで丁寧に教えて頂きます。
- 10:30 デスクワーク**
パソコンと向き合い、契約関係の資料を作成しています。苦手だったタイピングも、少しは早く打てるようになりました。
- 12:00 昼食**
職場の皆さんともぐもぐタイム。春から始めた、1人暮らし。私はお弁当を作って持参しています。週に1回は、事務所にある食堂を利用します。ちなみに私のオススメは日替わり定食です！
- 13:00 育成プログラム**
週に一回、道路管理二課長より、道路に関する座学を受けています。私も課長のような道路のスペシャリストになるべく、真剣に話を聞き、皆さんと道路について様々な知識を深めています。
- 15:00 現場技術研修会**
月に1回、様々な現場に行きます。現場でしか得られないことが沢山あるので、私は現場が大好きです！研修で得たことは、毎日の業務に活かしています。
- 17:00 打ち合わせ**
広報班と、意見を出し合い新しい取り組みを考えています。自分の意見が採用されたときは、とても嬉しいです。
- 17:45 退庁**
明日やるべきことを確認し、仕事を終えたら定時ダッシュ！あっという間に1日の業務を終えました。退庁後は、美容院やネイルサロンへ。モチベのための美容は、私に欠かせません★

DAILY LIFE OF YOUNG STAFF

事務

信濃川下流河川事務所
占用調整課

黒川 結加

Yuika Kurokawa

2023年度採用



1年目から責任ある仕事を任せてもらい、やりがいを感じています。勉強と経験を積み重ねて、レベルアップしていきたいです。

ONE DAY

- 8:30 始業**
席に着いたらメールと予定を確認し、その日やるべきことを書き出しています。
- 9:00 許認可業務**
河川敷の使用に関する許認可業務を行います。河川法や規則等に基づいた適切な判断・処理が求められます。
- 11:00 打合せ**
新たに別の業務も担当することになったので、上司に基本的なことから教わりました。
- 12:00 昼食**
係長と事務所の近くにあるカフェに行きました。あまり時間がないので急いで食べます！
- 13:00 現場確認**
申請場所へ赴き、現地の状況を確認します。図面を見るだけではなく実際に自分の目で現場を見ることが、どのような案件なのか把握しやすくなります。
- 16:00 出張所と打合せ**
申請や相談の窓口である出張所と、許認可の進捗状況や出張所が受けた相談を共有し、迅速で正確な河川管理に努めています。
- 18:00 退庁**
今日は少しだけ残業しました。晩ご飯には、ホタテフライとスンドゥブを作りました！

DAILY LIFE OF YOUNG STAFF

事務

北陸地方整備局
総務部 契約課

森橋 洸太

Kota Morihashi

2021年度採用



今の仕事の経験を活かし、今後さらに幅広い業務へチャレンジしていきたいです。

ONE DAY

- 8:20 出勤**
家から本局まで徒歩10分ほど。元気な声でおはようございます！
- 8:30 始業**
まずはメールチェックと1日のスケジュールを把握します。
- 10:00 物品検査**
各事務所の物品管理が適正に行われているか、検査項目に則って確認します。検査は対面と合わせてWebで行うこともあります。
- 12:00 昼食**
お昼は、食堂で同期と仲良くご飯を食べます！仕事についての情報交換やプライベートのことなど何でも話せて楽しい時間です！
- 13:00 現場視察**
事前の打ち合わせで確認の必要がある箇所について、実際に現場で確認し理解を深めます。今日は、伐採木の資材置き場に行ってきました！
- 16:00 打合せ**
係内で作業の進捗状況を共有し、業務の効率化へつなげています。
- 17:15 退庁**
明日の予定を確認し、本日の業務は終了です。退庁後は、同期とご飯を食べたりバドミントンで体を動かしたりと仕事とプライベートの両立をはかっています！サッカー観戦に行くことも？

DAILY LIFE OF YOUNG STAFF

技術

金沢港湾・空港整備事務所
企画調整課

水上 輝希

Teruki Mizukami

2022年度採用



幅広い業務内容がある中で、様々な経験を積み、北陸の港湾事業に貢献できるように努めていきたいと思っています。

ONE DAY

- 8:20 出勤**
家から事務所までは徒歩15分。始業時間の10分前には出勤します。
- 8:30 始業**
まずは、1日のスケジュールやメールを確認します。
- 10:00 打合せ**
業者の方とWeb会議を行います。工期末が近い調査業務について、解析データ等で今後の検討方針を確認します。
- 12:00 昼食**
同じ事務所の若手職員と一緒に食べることが多いです。
- 13:00 現場視察**
クルーズ船寄港日だったので、広報用の写真撮影兼ねて現場視察に行ってきました。UAVでの写真撮影の補助も行いました。
- 15:00 内業（資料作成等）**
事務所到着後、撮影した写真の整理を行います。また、今後使用するための資料を作成します。作成後は、上司と相談し、修正等を行います。
- 17:15 退庁**
明日の予定を確認し、本日の業務は終了です。

MESSAGE FROM STAFF

入省理由は？

楽しかったことは？

どのように
成長できた？

職員からの メッセージ

技術
(砂防)

立山砂防事務所
調査課

濱浦 千歩

Chiho Hamaura

■2023年度採用



入省理由は？

地元である富山県をはじめとした北陸地方で暮らす人たちが、安心して生活できる環境を支えたいと思い、入省を決めました。

入省時からの成長

分からないことは積極的に質問するように心掛けています。たくさん助けていただきながら、少しずつわかることも増えてきて楽しいです。

就職してからの楽しかったこと

同期と仲が良く、仕事終わりや休みの日にも一緒にご飯に行ったり、遊びに行ったりして楽しんでいます。

技術
(河川)

信濃川河川事務所
工務課

奥堂 観月

Miduki Okudo

■2021年度採用



入省理由は？

業務説明会で丁寧に対応してもらい、働いている自分をイメージすることができたので入省を決めました。

入省時からの成長

頼まれた仕事には「これは何のためにやるのか」を考え、作業の前後に他に何が必要になるか、自分で考えて効率的に仕事ができるようになりました。

就職してからの楽しかったこと

様々な趣味を持つ方がいるので、休日は職場の人とスノーボード、登山、ゲーム大会に味噌造りまで！新しいことに挑戦することが楽しいです。

技術
(河川 道路)

企画部
技術管理課

上野 佳大

Yoshihiro Ueno

■2015年度採用



入省理由は？

市役所にも合格していたため最後まで悩みましたが、決め手は業務説明会でした。悩んでいる方は是非参加してみてください。

入省時からの成長

初めは業務が計画通りに進まず苦労しましたが、失敗を踏まえて計画を立てることで余裕を持って業務を進めることができるようになりました。

就職してからの楽しかったこと

異動で新しい人に出会い、人との輪が広がるのが楽しいです。困りごとがあれば、これまで出会った人に相談して解決することが多いです。

技術
(港湾・空港)

港湾空港部
港湾事業企画課

和田 拓己

Hiroki Wada

■2023年度採用



入省理由は？

社会インフラ整備を行っている組織で、自分が生まれ育った北陸を快適で暮らしやすい環境につくり上げたいと思い、入省を決めました。

入省時からの成長

上司や先輩に支えてもらいながら、大規模な港湾工事の費用を算出できる経験が、自分の専門性を日々高められていると感じます。

就職してからの楽しかったこと

職場の同期と仲良くなり、日々食事を共にしたり、休日はスキーやスポーツ観戦に行ったり、充実した日常生活を送っています。

技術
(営繕)

営繕部
整備課

肥田 大輝

Daiki Hida

■2022年度採用



入省理由は？

多くの人を支える場となる官庁施設の営繕に携わり、北陸地域の安全安心な生活の実現に貢献したいと思い入省しました。

入省時からの成長

官庁施設の営繕や災害対応など、様々な業務に若いうちから携わることができ、幅広い分野の知識が身につきました。

就職してからの楽しかったこと

和気藹々とした職場で、終業後や休日に集まってスポーツやキャンプをしており、公私で充実した生活を送っています。

技術
(電気)

羽越河川国道事務所
工務第一課

山際 大輝

Taiki Yamagiwa

■2021年度採用



入省理由は？

電気系の専門分野を学んでおり、その知識を地域や人々のために活かせる仕事がしたいと思い入省を決めました。

入省時からの成長

工事を発注するにあたり、正確な積算や工事を安全かつ円滑に進めていくことが必要となるため、不明点は上司や先輩職員に聞きながら責任をもって仕事に携えることでスキルアップを実感できています。

就職してからの楽しかったこと

休暇取得やフレックス制などワークライフバランスが整っている職場のため充実したプライベートを過ごせています。

技術
(機械)

企画部
施工企画課

雄谷 光

Hikaru Ooya

■2023年度採用



入省理由は？

学校で学んでいた機械の知識を活用しながら人の役に立つ仕事をしたいと思っていたときに、北陸地方整備局の業務説明会に参加したことがきっかけで入省をしました。

入省時からの成長

分からない所は自分だけで考え込まずに上司に相談するようになりました。相談することによって業務を円滑に進められるようになりました。

就職してからの楽しかったこと

就職して一人暮らしを始めたことで、好きなものを好きなときに食べられるのが楽しいです。最初は仕事との両立ができるか不安でしたが、今では一人暮らしを満喫しています。

技術
(道路)

新潟国道事務所
工務第一課

溝上 凌雅

Ryoga Mizokami

■2023年度採用



入省理由は？

地域住民の方々が毎日のように利用する道路の活性化に携わりたいと思い、道路がつながり、利用しやすくなる過程を間近で見れることで仕事に対してやりがいを感じるので入省を決めました。

入省時からの成長

人との関わり方や言動を心掛けるようになりました。様々なことを経験・失敗し、知識を身につけたいという気持ちを強く持つことでタフに生きていけるようになりました。

就職してからの楽しかったこと

関東から北陸へやってきた身からすると環境が全然違う場所で様々な経験ができています。人生豊かになっています！また、人とのつながりも多くあり、良い刺激になります。

技術
(道路)

道路部
道路計画課

山越 栞奈

Kanna Yamakoshi

■2015年度採用



入省理由は？

父親が建設業に携わっており、幼い頃から工事現場を見る機会も多く、生まれ育った北陸地方のまちづくりに携わりたいと思い入省を決めました。

入省時からの成長

社内の人だけでなく、部署によっては地元の方、自治体の方や受注者さんとのやりとりもあることから、幅広い年齢層の方と話すスキルが身についたと思います。

就職してからの楽しかったこと

休暇が取得しやすい職場なので、業務の進捗状況を見て、休暇を取得し家族や友人と旅行へ行くことが楽しみです。

技術
(道路)

富山河川国道事務所
道路管理第二課

江藤 聡志

Satoshi Eto

■2020年度採用



入省理由は？

近年、頻発している豪雨・豪雪などの自然災害に最前線に関わっている「防災」で、ふるさと北陸を守りたいと思い入省しました。

入省時からの成長

物事を広く見る力が培われました。行っている仕事には数年～数十年規模のものが多く、過去のこと、未来のことを考えて行動しています。

就職してからの楽しかったこと

一つの大きな仕事をチーム一丸となって成功させた時はとてもやりがいを感じました。事業が大きいと完成までも時間がかかりますが、その分達成感があります。

事務
(総務)

新潟国道事務所
経理課

和田 葉都樹

Haduki Wada

■2023年度採用



入省理由は？

道路事業を通じて交通・防災・観光など多方面から、住みやすく魅力あふれる北陸のまちづくりに貢献したいと思い、志望しました。

入省時からの成長

知識豊富な上司に囲まれ、日々スキルアップできる環境です。今後も様々な業務を経験し、成長していきたいです。

就職してからの楽しかったこと

事務所の様々なイベントに参加することができるので、とても楽しいです。直近では、トンネル貫通の瞬間に立ち会いました！

経験者採用
技術
(機械)

北陸技術事務所
雪害防災減災課

後藤 大地

Daichi Goto

■2022年度採用



入省理由は？

高校・大学と民間企業で学んだ機械系の知識と経験を生かし、生まれ育ち、お世話になっている北陸地方で、地域貢献度の高い設備や技術に関わる仕事をしたいと思い、入省を決めました。

入省時からの成長

自分の考えや方向性を受注者へ正しく伝え、効率的な運用・管理が行われるように業務をマネジメントする力が身につきました。

就職してからの楽しかったこと

普段は簡単に見ることができない機械設備や、災害対策車両などの最新技術を間近で見学して触れることができるので、学びになり楽しいです。

経験者採用
技術
(電気)

企画部
情報通信技術課

細川 哲

Satoshi Hosokawa

■2021年度採用



入省理由は？

前職で培った電気通信設備の工事や維持管理の技術や知識を十分に活用できて、自分の生まれ育った地元への地域貢献ができる職業に就きたいと考え、入省を希望しました。

入省時からの成長

主に電気関係の仕事を専門にしていたのですが、通信設備や情報システムといった幅広い知識が求められるため、その点については成長したと思います。

就職してからの楽しかったこと

設備の更新工事や日常の維持管理を通じて、自分の担当している現場や設備が健全に稼働している状況を確認出来たときは感無量の思いでした。

オンもオフも自分らしく！ワーク・ライフ・バランス



事務 信濃川下流河川事務所 総務課 総務係長
間持 亜里沙 2007年度採用
 Arisa Kenmotsu

「育児と仕事の両立を実現し充実した毎日」

担当業務
 職場環境の整備、内外調整、庁舎管理、災害時の後方支援

育児休業取得年
 2015年度に育児休業を取得
 2020年度～2021年度に育児休業を取得

職場環境の整備や内外調整など必要不可欠で多岐にわたる業務を担当しています。部署に関係なくたくさんの職員と接する機会があり、外部との打合せも多々あるため、フットワークを軽く柔軟性を持って業務に取り組むよう心がけています。

8歳、3歳の2人の息子を育てながらの生活は時間に追われて忙しい日々ですが、家族の協力と職場の支えにより育児と仕事の両立を実現し充実した毎日を過ごしています。

第一子では約1年間、第二子では約2年間の育児休業を取得し、復帰後しばらくは勤務時間を1時間短縮していました。小さな子どもは急な発熱が多く、その際には子の看護休暇を取得しています。

上司や同僚の理解もあり支援制度を活用しやすい職場環境です。子供のために休暇を取得することが多くなりがちですが、数ヶ月に1度は自分のために休暇を取得しリフレッシュするように意識しています。

妊娠・出産・育児・介護と様々なライフステージにおける支援制度が充実しています。

男女問わず家庭と仕事を両立している職員がたくさんいます。支援制度が整っていることはもちろんですが、その制度を活用しやすい職場環境であること、また、同僚とは励まし合いながら、先輩には相談に乗ってもらいながら、職員同士が良い関係を築いていることが最大の魅力です。

事務 金沢河川国道事務所 用地第二課
松橋 睦月 2019年度採用
 Mutsuki Matsuhashi

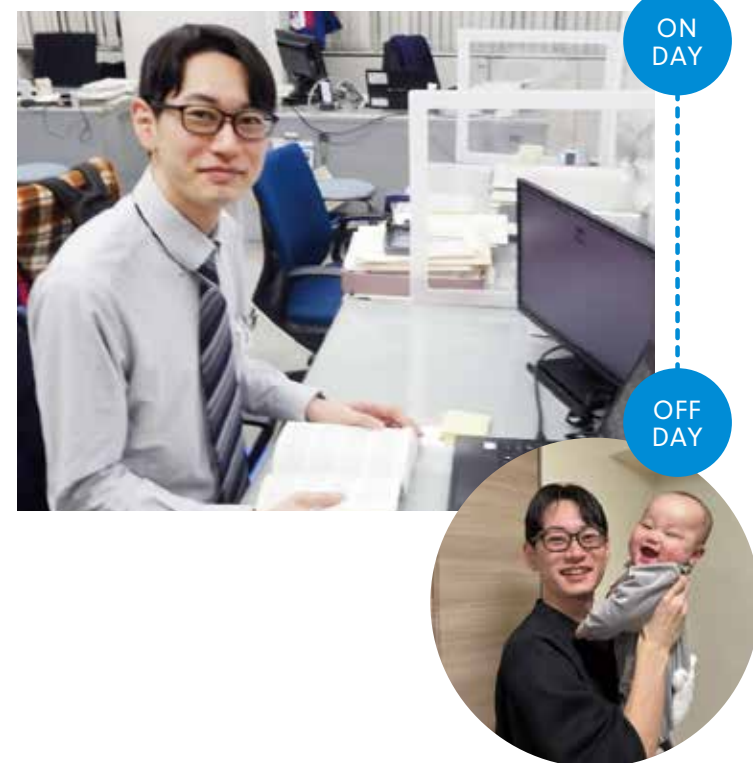
「本人にも家族にも働きやすい職場環境」

担当業務
 公共事業に必要となる土地の取得のための用地事務を担当

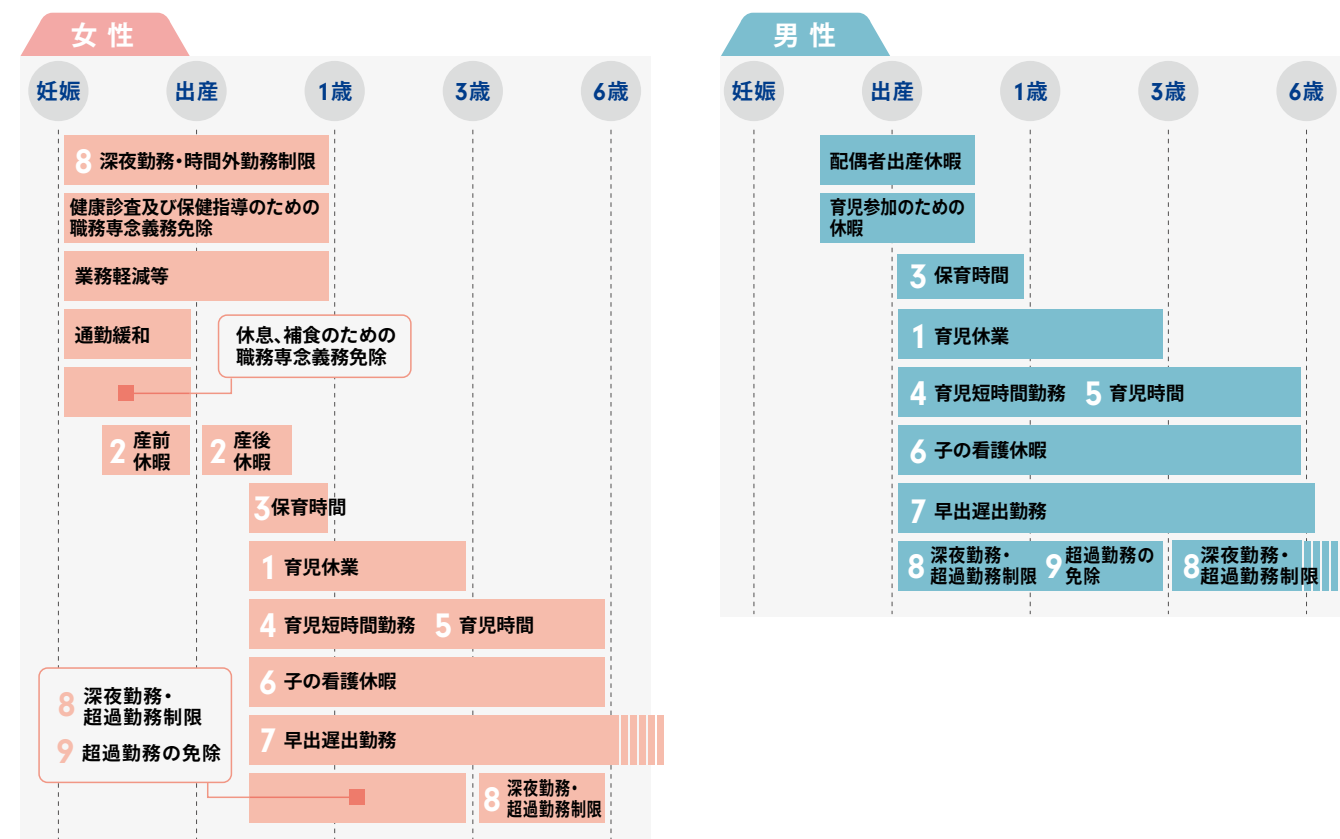
育児休業取得年
 2023年度に育児休業を取得

予定日の少し前から年次休暇を使い、子どもの誕生後に3ヶ月ほど育児休業を取得しました。育児休業を取得したことで、妻の負担を軽減できただけでなく、子どももよく懐いてくれ、家族の絆を深めることができました。復帰後はフレックスタイム制度を利用して、勤務開始と終了の時間を早め、妻と協力して家事や育児をしています。また、休みの日には家族で色々なところに出かけてリフレッシュをしています。

理解がある職場環境のため、男性でも育児休業やフレックスタイム制等の支援制度を使用しやすい雰囲気です。周囲の理解もある職場環境であり、育児休業を取るにあたって、上司に度々相談しておりましたが、親身になって話を聞いてくださり、あたたかく送り出してくださいました。



利用できる期間(妊娠から就学まで)



利用できる制度

- 育児休業**
3歳未満の子どもを養育する場合 ▶ 配偶者の就業等の状況にかかわらず取得可能
- 産前・産後休暇**
出産する場合 ▶ 産前6週間、産後8週間(多胎妊娠の場合は産前14週間)
- 保育時間**
生後1年未満の子を養育する場合 ▶ 子が1歳に達するまで、1日2回それぞれ30分以内
- 育児短時間勤務**
小学校就学前の子どもを養育する場合 ▶ 勤務時間を1日3時間55分(週19時間35分)等に短縮
- 育児時間・介護時間**
小学校就学前の子どもを養育又は父母等を介護する場合 ▶ 1日の勤務時間の一部(2時間まで)を勤務しないことが可能
- 子の看護休暇**
小学校就学前の子どもを看護する場合 ▶ 年5日(対象となる子が2人以上の場合は年10日)
- 早出遅出勤務**
小学校就学前の子どもを養育、放課後児童クラブ等に通う小学生の子どもを送り迎え、又は父母等を介護する場合 ▶ 始業・終業時間の繰り上げ又は繰り下げて勤務
- 深夜勤務・超過勤務制限**
小学校就学前の子どもを養育又は父母等を介護する場合 ▶ 深夜勤務は免除超過勤務は月24時間・年150時間以内に制限
- 超過勤務の免除**
3歳未満の子どもを養育又は父母等を介護する場合
- 介護休暇**
配偶者、父母、子、祖父母、孫、兄弟姉妹等を介護する場合 ▶ 6ヶ月の期間内で必要と認められる期間
- 短期介護休暇**
配偶者、父母、子、祖父母、孫、兄弟姉妹等の介護等を行う場合 ▶ 年5日(対象となる要介護者が2人以上の場合は年10日)
- 配偶者同行休業**
外国で勤務等をする配偶者と外国において生活を共にする場合 ▶ 3年を超えない範囲

キャリアサポート研修

育児・介護等の理由により合宿研修受講が困難な職員(係員から課長級の全職員)を対象にワークライフバランスなど仕事と家庭の両立を改めて考える機会を提供する研修を実施しています。

キャリアパスと研修制度

様々な部署で多様な仕事を経験し、エキスパートとして大きく成長。
さらに、充実した研修であなたのスキルアップをサポートします。

係 員

» 係 長

» 課 長

» 所 長

OJT On the Job Training

日常の業務を通じた経験の中で
必要な知識・技術を身につける



受注者との打合せ



現地調査



工事立会



維持管理（橋梁点検）

新規採用職員向け研修を一部ご紹介

新規採用職員研修 国家公務員としての使命や心構え、基礎的な知識などを身に付けます。同期との仲も深まります。



コンプライアンスの講義



課題実習（グループ討議）

雪寒研修 北陸地方整備局ならではの研修として、採用1年目の新規採用職員全員が受講します。



除雪作業実習



雪崩・雪庇パトロール実習

キャリアパスに応じた研修の一例

事務	●新規採用職員研修(事務) ●総務 ●会計・契約等研修	●経済 ●法律 ●用地事務(中級)等研修	●国土交通行政(上級・事務)等研修	●管理事務指導
事務・技術	●新規採用職員研修 ●雪寒行政・雪寒現地研修 ●国土交通行政初級研修	●新任係長等研修 ●国土交通行政中級研修 ●広報広聴	●管理者(事務所課長・出張所長) ●新任副所長研修等	●コンプライアンス指導者養成
技術	●新規採用職員研修(技術)・基礎技術 ●河川行政 ●道路行政等研修	●河川・ダム管理技術 ●道路構造物管理実務者 ●現場技術等研修	●国土交通行政(上級・技術) ●検査監督 ●危機管理等研修	●管理技術研究



技術

河川部地域河川課

親松 康義

Yasuyoshi Oyamatsu

2008年度採用

「大規模なプロジェクトに関わる
充実感と達成感を得られます。」

- 2008年 ● 北陸地方整備局 入局
- 2009年 ● 飯豊山系砂防事務所 調査・品質確保課
- 2011年 ● 新潟港湾・空港整備事務所 海岸課
- 2013年 ● 阿賀野川河川事務所 工務課
- 2015年 ● 信濃川下流河川事務所 関屋出張所 技術係長
- 2016年 ● 湯沢砂防事務所 調査課 調査係長
- 2018年 ● 信濃川河川事務所 調査課 調査係長
- 2020年 ● 信濃川河川事務所 工務課 工務係長
- 2022年 ● 河川部 地域河川課 計画係長

これまでのキャリアの中で印象深かった
勤務地や出来事

Career

2019年度
信濃川河川事務所
調査課 調査係長

本勤務地で第一子が生まれました。運良く出産にも立ち会い、病室で仕事の電話をしていると、妻が看護師さんから「旦那様の電話口から140億円と聞かされたけど、どんなお仕事されているの?」と聞かれたそうです。当時担当していた大規模災害関連事業の話でしたが、仕事の規模感を客観的に感じられ、事業採択された時には特に達成感がありました。



事務

阿賀野川河川事務所
総務課

小嶋 繁香

Shigeka Kojima

1995年度採用

「チームワークで大変なときを
乗り越えた経験が、
今の自分を支えています」

- 1995年 ● 北陸地方建設局(現:北陸地方整備局)
- 1997年 ● 高田河川国道事務所 用地第二課
- 1999年 ● 信濃川下流河川事務所 用地課
- 2002年 ● 阿賀野川河川事務所 総務課
- 2007年 ● 信濃川下流河川事務所
三条出張所 事務係長
- 2008年 ● 阿賀野川河川事務所 満願寺出張所 事務係長
- 2010年 ● 長岡国道事務所 小出維持出張所 事務係長
- 2012年 ● 信濃川下流河川事務所 経理課 契約係長
- 2015年 ● 用地部 用地企画課 管理係長
- 2019年 ● 総務部 会計課 予算係長
- 2021年 ● 長岡国道事務所 経理課 経理課長
- 2022年 ● 新潟国道事務所 経理課 経理課長
- 2023年 ● 阿賀野川河川事務所 総務課 総務課長

これまでのキャリアの中で印象深かった
勤務地や出来事

Career

2019年度～2020年度
総務部 会計課 予算係長

北陸地方整備局全体の予算に携わり、予算の動きから事業の全体像を知ることができました。部下が増えて最初は戸惑いましたが、チームワークで大変なときを乗り越え一緒に成長できた経験は、私にとって大切な財産です。



技術

金沢港湾・空港整備事務所
所長

舟川 幸治

Koji Funakawa

1984年度採用

「2050年カーボンニュートラルの
実現に向けた港湾の取組を体験しませんか。」

- 1984年 ● 第一港湾建設局(現:北陸地方整備局) 入局
- 1987年 ● 国土庁大都市圏整備局 計画官付 係員
- 1991年 ● 運輸省港湾局 開発課調査課係 係員
- 1994年 ● 運輸省港湾局 海岸・防災課海岸係 係員
- 1997年 ● 第一港湾建設局 伏木富山港工事事務所工務課 工務第三係長
- 2002年 ● 中部国際空港(株)建設事務所 技術総括グループ 副長
- 2005年 ● 北陸地方整備局 港湾空港部 港湾事業企画課 事業第三係長
- 2007年 ● 北陸地方整備局 企画部 技術管理課基準第二係長
- 2011年 ● 北陸地方整備局 港湾空港部 港湾物流企画室 課長補佐
- 2013年 ● 東北地方整備局 秋田港湾事務所 沿岸防災対策官
- 2015年 ● 北陸地方整備局 港湾空港部 港湾空港・整備補償課 課長補佐
- 2019年 ● 新潟市都市政策部 港湾空港課 参事 課長
- 2022年 ● 北陸地方整備局 港湾空港部 港湾高度利用調整官
- 2023年 ● 北陸地方整備局 金沢港湾・空港整備事務所 所長

これまでのキャリアの中で印象深かった
勤務地や出来事

Career

2022年度
港湾空港部港湾高度利用調整官

洋上風力発電事業が新潟県村上市・胎内市沖で動き始めていますが、国が行う発電事業者の公募手続きにおいて港湾利用に関する質疑対応など緊張感を持って直接行えたことは、私にとって新しく、これまでにない貴重な経験をさせていただきました。洋上風力発電などの港湾区域や臨海部でのカーボンニュートラルの取組は、益々増えていくと考えており、今後の技術革新とともに、更に推進されることを期待しています。

入省について

北陸地方整備局の職員になるためには、人事院が行う国家公務員一般職採用試験に合格することが第一歩になります。
まずは、人事院のHPから国家公務員一般職試験のインターネット申込みをしてください。試験は無料です。
北陸地方整備局では説明会や現場見学会を開催するので、ぜひお越しください。

国家公務員一般職試験スケジュール

大卒程度

【募集分野】
行政、土木、機械、
デジタル・電気・電子、
建築、林学、
農業農村工学、
農学、物理、化学

インターネット
申込み
2月22日～3月25日

一次試験
6月2日

二次試験
7月10日～7月26日

最終合格
8月13日

高卒程度

【募集分野】
事務、技術、農業土木、
林業

インターネット
申込み
6月14日～26日

一次試験
9月1日

二次試験
10月9日～18日

最終合格
11月12日

業務説明会（7月頃）

国家公務員一般職試験一次試験合格者を対象に北陸地方整備局業務説明会を開催します。パンフレットだけではわからないことを知ることのできる絶好の機会です。みなさんの質問に丁寧にお答えします。ぜひお越しください。（開催日程が決まり次第ホームページに掲載します。）



現場見学会（大卒6月、高卒10月頃）

北陸地方整備局の事業をより理解していただくために、社会資本整備の現場へみなさんをご案内する機会を随時ご用意します。事業の説明はもちろん、仕事の面白みややりがい、説明会だけでは感じることのできない、直轄事業の最前線を体験してください。（開催日程が決まり次第ホームページに掲載します。）











採用内定

※官庁訪問の時期はホームページやSNS等をご確認ください。

近年の採用状況（ ）内書きは女性数

大卒	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
行政	10(2)	8(2)	19(5)	13(3)	12(5)	7(3)
土木	18(5)	17(3)	11(1)	13(3)	9(1)	9(4)
農業農村工学	0	1(0)	0	0	0	0
農学	1(0)	0	0	0	0	1(0)
林学	0	0	0	0	0	3(0)
機械	2(0)	2(0)	0	1(0)	1(0)	3(0)
デジタル・電気・電子	3(0)	1(0)	1(0)	0	3(0)	0
建築	0	1(0)	1(1)	3(1)	0	1(0)
物理	0	2(0)	0	0	0	1(0)
化学	0	0	0	1(0)	2(2)	1(0)
計	34(7)	32(5)	32(7)	31(7)	27(8)	26(7)

高卒・社会人	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
行政事務	5(3)	14(5)	11(6)	15(11)	22(11)	17(3)
技術	12(3)	13(4)	23(3)	16(4)	18(5)	12(1)
農業土木	2(0)	2(0)	0	3(1)	2(0)	2(0)
林学	0	0	0	0	0	0
計	19(6)	29(9)	34(9)	34(16)	42(16)	31(4)

ココが知りたい！北陸地方整備局

Q&A みなさんから問合せの多い質問をピックアップ。
仕事内容や北陸地整についてもっと理解できるはずです。

Q. 勤務時間、休暇について教えてください

A. 勤務時間は平日【8:30～17:15】です。年次有給休暇は年間で20日与えられます。さらに夏季休暇や、結婚、忌引き等で使える特別休暇、病気休暇、介護休暇などがあり、業務に支障のない範囲で自由にとることができます。また、テレワークとともに柔軟な働き方を推進しており、業務に支障の無い範囲でフレックス勤務も可能です。

Q. 希望する職務を担当することは出来ますか？

A. 必ずしも本人の希望通りの職務を担当できるとは限りませんが、様々な職務を経験することで、自身のスキルアップを図り、自分に合った業務を見つけられると思います。

Q. 職場はどのような雰囲気ですか？

A. 公務員にお堅いイメージを持つ方も少なくないと思いますが、北陸地方整備局は明るく、活気のある職場です。風通しもよく、なんでも相談しやすい雰囲気なので1人で仕事に悩むことはありません。職員同士の協力が大きく、安心して働くことができる職場です。

Q. 給料を教えてください

A. 一般職（大卒程度） 196,200円
一般職（高卒程度） 166,600円
このほか、通勤手当、超過勤務手当、地域手当等が支給されます。ボーナス（賞与）年2回【合計約4.5ヶ月分】昇給年1回（2024.2現在）

Q. 北陸地方整備局職員になるためには、国家公務員採用一般職試験のどの試験区分を受験する必要がありますか？

A. 事務系を志望される方は、大卒程度：行政（東北、関東甲信越、東海北陸※1）、高卒程度：事務（東北、関東甲信越、東海北陸※1）を受験してください。技術系を志望される方は、大卒程度：どの試験区分でも可※2、高卒程度：技術（東北、関東甲信越、東海北陸※1）を受験してください。
※1 事務系及び技術系（高卒程度）は、採用を希望する地域で「東北、関東甲信越、東海北陸」を選択してください。
※2 土木、デジタル電気電子、機械、建築、物理、化学、農学、農業農村工学、林学

Q. 残業や休日出勤はありますか？

A. 残業の有無やその頻度は部署によって異なるので一概にはいえません。また、災害対応などで土・日出勤や休日出勤となる場合もあります。そのようなときは振替休日などの制度を利用することができます。

Q. 勤務地はどのように決まりますか？

A. 希望や事情を考慮して決まりますが、すべての異動が転居を伴うものではありません。異動を不安に思う方は多いかもしれませんが、北陸地方の各地で新しい出会い、貴重な経験ができますし、周りの職員もしっかりフォローしてくれるので心配はいりません。

Q. 地方自治体との違いはなんですか？

A. 整備局は、市町村や県のようにひとつの地域に留まるのではなく、複数の県にまたがる広域的で、大規模な、専門性の高い事業を行っています。また、整備局は地方自治体に対して地域づくり、まちづくりへの指導・助成や災害時の支援なども行っています。

Q. 宿舎はありますか？

A. 各地に独身用宿舎や、家族で住める世帯用宿舎があり、駐車場も用意されています。宿舎に住まず、民間の賃貸住宅を借りた場合にも、家賃に応じた住居手当が支給されます。



独身寮



独身寮（内部）



世帯用宿舎



世帯用宿舎（内部）

29

30



100年先の未来を築く

Building The Future 100 years.

採用に関するお問い合わせ



国土交通省 北陸地方整備局

[事務系] 人事課 管理係

[技術系] 企画課 企画第一係

ADDRESS 〒950-8801 新潟市中央区美咲町1-1-1

TEL 025-280-8880 (代表)

MAIL saiyu@hrr.mlit.go.jp

「美咲合同庁舎」バス停下車、
または「出来島変電所」バス停下車、約400m

●新潟交通バス時刻表

<https://www.niigata-kotsu.co.jp/~norai/route-bus/timetable/route/>



HP ▶



採用HP ▶



YouTube ▶
(採用担当)



X ▶
(採用担当)

